

# 中距離地对空誘導弾の取得

空白

## 事業概要及び論点等について

空白

## 事業概要及び論点等について

事業名	中距離地对空誘導弾の取得
令和2年度 補正後予算額	22,586,865 (千円)
事業概要	<p>1 事業の目的</p> <p>中距離地对空誘導弾は、陸上自衛隊の縦深・多層な対空火網を構成する際の中距離対空火力として、敵の巡航ミサイル・空対地ミサイル等のミサイル攻撃等から部隊及び施設を掩（えん）護するとともに、戦略上の要域内の政経中枢及び重要施設を掩護するために、陸上自衛隊に配備されてきました。</p> <p>しかしながら、近年の厳しい防衛予算環境下では、改良ホークの損耗更新として03式中距離地对空誘導弾の導入が困難になることが予想されることに加えて、低空から侵入してくる巡航ミサイルや高速化した空対地ミサイルに対処するための低空目標対処能力及び高速目標対処能力等の向上を行う必要があることから、政策的に重要な装備品として03式中距離地对空誘導弾（改善型）を平成29年度から計画的に、かつ、確実に取得する。</p> <p>2 事業の詳細</p> <p>(1) 中距離地对空誘導弾の概要</p> <p>本事業では、中距離地对空誘導弾として、現在03式中距離地对空誘導弾（改善型）（図1）を取得している。</p> <p>03式中距離地对空誘導弾（改善型）は、03式中距離地对空誘導弾の後継として、陸上自衛隊の高射特科群等に装備し、方面隊の対空火力の骨幹として、方面隊の作戦地域に全般的対空火網を構成して部隊及び施設を掩護するとともに、航空自衛隊と協同し、戦略上の要域に対し全般的な対空火網を構成し、同要域内の政経中枢及び重要施設を掩護するものである。</p>

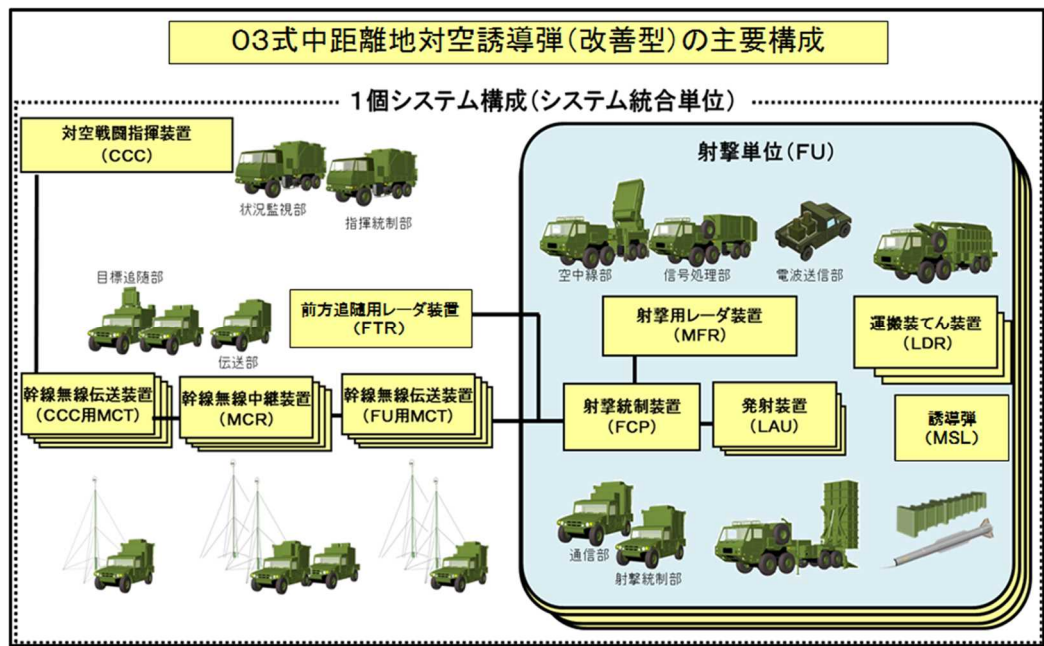


図1 03式中距離地对空誘導弾(改善型)

03式中距離地对空誘導弾(改善型)は、地上装置及び誘導弾、整備器材等から構成されており、必要な構成の取得を行っている。

(参考) 地上装置は、対空戦闘指揮装置、前方追従用レーダ装置、射撃用レーダ装置、射撃統制装置、発射装置、運搬装てん装置、幹線無線伝送装置及び幹線無線中継装置から構成されている。

整備器材は、野整備器材1号、野整備器材2号、野整備器材3号、野整備器材4号、補給処整備器材1号、補給処整備器材2号、誘導弾点検・搭載用器材、擬製弾及び幕僚活動支援器材から構成されている。

(2) 03式中距離地对空誘導弾(改善型)の取得計画について

本装備は、平成29年より取得を開始し、令和14年度までの間に、約14個射撃単位(約3.5個システム)を基準として取得する計画である。

本装備品については、開発着手段階(平成21年度)における政策評価書(事前)において、「高射特科部隊等に装備し、低空目標(巡航ミサイル)や高速目標(空対地ミサイル等)対処能力の向上、ネットワーク交戦能力の向上による防護範囲の拡大及び取得コストの低減を図った03式中距離地对空誘導弾(改)を開発する」と記載されており、性能等の向上と同じ位置づけで、取得コスト低減を目指した事業であることが明記されている。

また、老朽化・陳腐化が著しい改良ホークの損耗更新に適切に対応しつつ、近年の経空脅威から中距離地对空誘導弾の能力向上に対応するため、

	<p>平成22年度から平成27年度にかけて試作を実施し、平成24年度から平成28年度にかけて試験を実施する等、所要の確認を経たうえで平成29年度から取得を開始している。</p> <p>(3) 03式中距離地对空誘導弾（改善型）の取得等の状況</p> <p>03式中距離地对空誘導弾（改善型）は、現在、量産装備品として取得中である。</p> <p>量産1回目は、平成29年12月に契約を締結し、計画通り令和2年度に納入された。量産2回目は平成31年1月に、量産3回目は令和2年3月に、量産4回目は令和3年3月にそれぞれ契約を締結している。</p> <p>今まで契約した量産装備品は、製造請負会社とすべて公募型随意契約の方式で契約している。</p> <p>量産5回目は令和3年度予算により、契約に向けた調整・手続きを実施中である。</p> <p>また、中距離地对空誘導弾（改善型）は量産1回目の装備品を取得して、令和2年度に陸上自衛隊に配備された。</p>	
選定基準	ア	事業の規模が大きく、又は政策の優先度の高いもの。

論 点

論点 1

公募型随意契約となったことは妥当か。また、契約が高落札率となったことは妥当か。

○ 公募型随意契約の適正性

03式中距離地对空誘導弾(改善型)の取得の契約の際には、武器等製造法(昭和28年法律第145号)第3条、かつ、火薬類取扱法(昭和25年法律第149号)第3条にそれぞれ規定する経済産業大臣の許可を有した者であることを必要な要件としている。

本件契約については、公募による公示を行っており、当該公示に応募した企業である三菱電機株式会社と随意契約したものである。

(参考)

現在、「公共調達に適正化を図るための措置について(通知)」(装管調第107号(27.10.1))に基づき、新規参入業者が存在しないことを確認する常続的公示を行っている。

○ 高落札率の適正性

平成29年度から、03式中距離地对空誘導弾(改善型)の取得に関する契約を実施しており、仕様書の変更がないことから、予定価格算定における変動要素は少ない。

また、予定価格内で契約するため、商議を繰り返した結果、高落札率となっている。

論点 2

厳しい財政状況の下で、政策的にも重要な03式中距離地对空誘導弾(改善型)の装備品を計画的に、かつ、確実に整備していくために、どのような取り組みを行っているか。また、取得に係るコスト低減について、具体的な方策を検討しているか。

○ 政策評価書(事前)で求められた取得コスト低減のため開発段階から次の事項を実施

・ 車両ファミリー化によるコスト低減

03式中距離地对空誘導弾(改善型)は、重装輪車両のファミリー化(03式中距離地对空誘導弾、12式地对艦誘導弾及び重装輪回収車と共通)及び高機動車両のファミリー化(93式近距離地对空誘導弾、96式多目的誘導弾システム、高機動車等と共通)とすることにより、コストの低減を図っている。



- ・ COTS品の活用によるコスト低減  
03式中距離地对空誘導弾（改善型）は、COTS品を積極的に活用（一例：対空戦闘指揮装置及び射撃統制装置の外部記憶部に民間で使用されているパソコンを活用）することにより、コストの低減を図っている。

COTS品：民生品  
(Commercial Off The Shelf)

○ ファミリー化によるコスト低減の検討内容

現在、開発中の新艦対空誘導弾は、本事業である03式中距離地对空誘導弾（改善型）等の試作成果や技術的知見を最大限活用することを念頭に構成品の共通化を図ることによって、設計の省力化、試験項目数の減少及び製作の必要な試作品数の低減をさせつつ、艦上発射化及び中間誘導等の技術的課題を解明することを計画しており、技術面及び経費面において効率化を図っている。

なお、新艦対空誘導弾は開発中のところ、量産に入るに当たっては、03式中距離地对空誘導弾（改善型）との共通の構成品の調達などで、双方の装備品の取得等でスケールメリットが得られることが想定される。

（参考）新艦対空誘導弾は、艦上発射等の要求を満たすために03式中距離地对空誘導弾（改善型）にブースタを追加する等の改修を一部図っている。

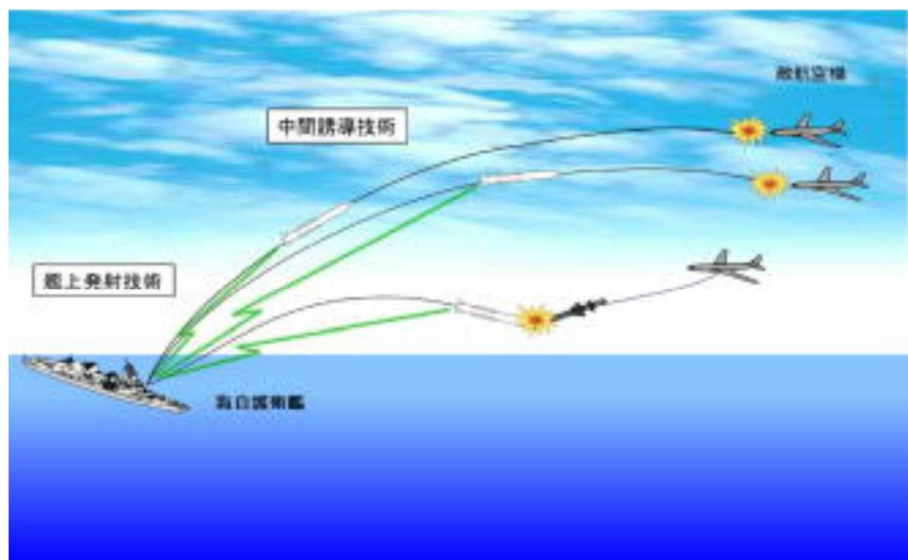


図 新艦対空誘導弾（イメージ）

空白

# ロジックモデル

空白

## 中距離地对空誘導弾の取得

本事業は、陸上自衛隊の高射特科群等に装備し、方面隊の対空火力の骨幹として、方面隊の作戦地域に全般的対空火網を構成して部隊及び施設を掩護するとともに、航空自衛隊と協同し、戦路上の要域に対し全般的な対空火網を構成し、同要域内の政経中枢及び重要施設を掩護する中距離地对空誘導弾を取得するものであり、現在、03式中距離地对空誘導弾（改善型）（以下、中SAM（改）という。）を取得するものである。

- 中SAM（改）は、防衛大綱・中期防衛力整備計画で計画的に整備が必要としている政策的に重要な装備品であり、平成29年度から取得に着手して、量産1回目は令和2年度に部隊に整備
- 中SAM（改）の取得における量産単価は増加していないものの、これを計画的、かつ、確実に整備する上で更なるコスト低減を図るための取り組みは必要

### 現状・課題

インプット  
(資源)

令和2年度  
補正後予算額  
「中距離地对空  
誘導弾の取得」  
225.87億円

アクティビティ  
(活動)

**事業の内容**  
中SAM（改）  
を取得するために、  
調達を実施する。  
**【調達内容】**  
○ 誘導弾  
○ 地上装置  
○ 整備器材 等

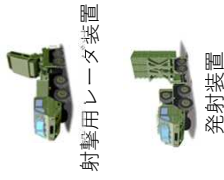
アウトプット  
(活動目標)

**中SAM（改）  
の取得**

誘導弾



地上装置（一例）



整備器材 等

アウトカム（成果目標）

初期アウトカム

**中SAM（改）  
の配備**

- 防衛大綱・中期防衛力整備計画で計画的に整備が必要としている政策的に重要な装備品であり、計画された中SAM（改）の取得ペースに合わせ、確実に取得して、所要の部隊に整備

**【配備実績】**

- 令和2年度  
1個高射部隊

中期・長期アウトカム

**中期・長期アウトカム**

- 所要の部隊に整備することにより、陸上自衛隊の中距離対空火力を質的に向上（低空侵入の巡航ミサイル対応能力向上、高速化した空対地ミサイル対応能力向上等）させることが可能

インパクト  
(社会的な影響)

**【政策目標】  
我が国自身の防衛  
体制の強化**

**【施策目標】  
・従来領域における能  
力の強化**

戦路上の要域に対し  
全般的な対空火網を  
構成

戦路上の要域内の政  
経中枢及び重要施設  
を掩護

空白

## レビューシート

空白



令和3年度行政事業レビューシート ( 防衛省 )

<b>事業名</b>	中距離地对空誘導弾の取得			<b>担当部局庁</b>	防衛装備庁プロジェクト管理部	<b>作成責任者</b>					
<b>事業開始年度</b>	平成15年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	事業監理官(誘導武器・総合装備担当)	事業監理官 海老根 巧					
<b>会計区分</b>	一般会計										
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	防衛省設置法第四条第一項第十三号			<b>関係する計画、通知等</b>	平成31年度以降に係る防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画(平成31年度～平成35年度)(平成30年12月18日国家安全保障会議決定及び閣議決定)						
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	防衛関係						
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	改良ホークの損耗更新としてO3式中距離地对空誘導弾の導入が困難になることが予想されることに加えて、低空から侵入してくる巡航ミサイルや高速化した空対地ミサイルに対処するための低空目標対処能力及び高速目標対処能力等の向上を行う必要があることから、政策的に重要な装備品としてO3式中距離地对空誘導弾(改善型)を平成29年度から計画的に、かつ、確実に取得する。										
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	多種多様な攻撃に対応するため、ミサイル対処能力及びネットワーク交戦能力が向上したO3式中距離地对空誘導弾(改善型)を導入し、即応態勢及び抑止力を強化するものである。										
<b>実施方法</b>	直接実施										
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	306	7,757	8,478	3,700					
		補正予算	-	16,113	14,109						
		前年度から繰越し									
		翌年度へ繰越し									
		予備費等									
	計		306	23,870	22,587	3,700	0				
	執行額		371	23,773	22,554						
	執行率(%)		121%	100%	100%						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		121%	100%	100%						
<b>令和3・4年度 予算内訳</b> (単位:百万円)	<b>歳出予算目</b>		令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由						
	武器購入費		3,700								
	その他		0	0							
	計		3,700	0							
<b>成果目標及び 成果実績</b> (アウトカム)	<b>定量的な成果目標</b>		<b>成果指標</b>			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 5年度	目標最終年度 14年度
	計画どおり中距離地对空誘導弾を調達し、所要の部隊に配備することにより、我が国の平和と国民生活の安全・安心を確保する。		中距離地对空誘導弾を計画どおり部隊に配備したことで、対空戦闘への対応力が向上された部隊数。		成果実績	中隊数	-	-	1	-	-
					目標値	中隊数	-	-	1	5	14
					達成度	%	-	-	100	-	-
<b>根拠として用いた統計・データ名</b> (出典) 平成29・30・31・令和2年度陸上自衛隊業務計画											
<b>活動指標及び 活動実績</b> (アウトプット)	<b>活動指標</b>					単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	中距離地对空誘導弾の契約品目				活動実績	契約品目数	-	-	1	-	-
					当初見込み	計画品目数	-	-	1	1	-
<b>単位当たり コスト</b>	<b>算出根拠</b>					単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	単位当たりコスト =C1契約執行額(※)(X)/契約品目(射撃単位)数(Y) (※量産初号機契約の執行額)				単位当たり コスト	百万円/契約品目	-	-	16,076	17,912	
				計算式	X/Y	-	-	16,076/1	各年度の単位当たりコストは、当該年度執行に加え、前年度前倒し執行分を含む。		

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	I-1 我が国自身の防衛体制の強化(領域横断作戦に必要な能力の強化における優先事項)							
	施策	I-1-1(2) 従来の領域における能力の強化							
	測定指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標年度
		海空領域における能力の強化(中距離地对空誘導弾の部隊整備(5個中隊))	実績値	個中隊	-	-	-	-	-
			目標値	個中隊	-	-	-	-	5
		定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標年度
		総合ミサイル防衛能力の強化(中距離地对空誘導弾の整備(5個中隊))	実績値	個中隊	-	-	-	-	-
			目標値	個中隊	-	-	-	-	5
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	改良ホークの損耗更新として03式中距離地对空誘導弾の導入が困難になることが予想されることに加えて、低空から侵入してくる巡航ミサイルや高速化した空対地ミサイルに対処するための低空目標対処能力及び高速目標対処能力等の向上を行う必要があることから、政策的に重要な装備品として03式中距離地对空誘導弾(改善型)を平成29年度から計画的に、かつ、確実に取得する。								
新経済・財政再生計画改革工程表 2020	取組事項	分野:	歳出改革等に向けた取組の加速・拡大	公共調達改革					
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 29年度	2年度	3年度	中間目標年度	目標最終年度
		○各種取組による装備品等取得経費の縮減額【増加】 ○プロジェクト管理対象装備品等の品目数【増加】 ○防衛装備・技術移転協定に基づき締結した細目取組の件数【増加】 ○インセンティブ契約の適用件数【増加】	成果実績	百万円(契約ベース)		56			
			目標値			-			
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 29年度	2年度	3年度	中間目標年度	目標最終年度
		○毎年度の調達の合理化・効率化による縮減額 ・官給品によるGCIP等の削減 ・試作時における試験器材の無償貸付による初年度費の抑制	成果実績	百万円(契約ベース)		56			
		目標値			-				
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係									
「新経済・財政再生計画」(骨太方針2018)及び中期防衛力整備計画(平成31年度～平成35年度)を踏まえ、各種取組を推進し、引き続き防衛力整備の一層の効率化・合理化を図るものであり、本事業のうち、効率化への取組によって縮減効果が見込まれる事業を予算計上することにより、縮減見込額の累計額が増額される。									
<b>事業所管部局による点検・改善</b>									
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	当該事業は、部隊の戦力発揮に不可欠なものである。				
事業の効率性	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	当該事業の性質上、防衛省が担うべきものである。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	本装備の整備は、海空領域における必要な能力の強化において優先度が高い事業である。				
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	公募により広く参加者を募り競争性を確保している。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有					
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-				
単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	契約実績及び業者見積により確認している。					
資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-					
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	事業目的に即したものに限定している。					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-					

	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	民生品・汎用品の活用、車両・通信機器等の官給品支給及び同等誘導弾システムのファミリー化によりコスト低減を整備計画に基づいた調達であり、整備目標に見合っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	設定した活動指標に見合った活動実績としている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	効果的な部隊訓練の実施に活かされている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	
	所管府省名	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	1. 必要性 事業の目的から、防衛力整備を推進することは、我が国に対する侵攻に対応するために必要であり、防衛省で実施することが適切である。 2. 効率性 民生品・汎用品の活用、車両・通信機器等の官給品支給及び同等誘導弾システムのファミリー化によりコスト低減を図っている。 3. 有効性 各種誘導弾システムを調達することで、防衛力整備を着実に推進できるので、侵攻への対処に有効である。 4. 総合評価 効率的に各種誘導弾を調達することで、防衛力を着実に推進し、ひいては我が国に対する侵攻に対応可能である。		
	改善の方向性	各種誘導弾システムを調達することで、対処能力を向上させることで、我が国の平和と独立、国民生活の安全・安心を確保することが可能となることから、今後も予算・執行の効率化に努めつつ、事業を継続する。		
<b>外部有識者の所見</b>				
-				
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>				
-				
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>				
-				
<b>備考</b>				
-				
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>				
平成22年度				
平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				

令和2年度	防衛省 - 0092					
<b>資金の流れ</b> (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。					
	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           防衛省 22,554百万円         </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">↓</div> <div style="text-align: center;">           国庫債務負担行為等  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">             A. 民間会社 22,554百万円           </div> </div> <p>[誘導武器装備品の購入]</p> </div>					
<b>費目・用途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.三菱電機(株)			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	武器購入費	誘導武器装備品の購入	12,902			
	武器購入費	誘導武器装備品の購入	4,867			
	武器購入費	誘導武器装備品の購入	3,318			
	武器購入費	誘導武器装備品の購入	989			
	計		22,076	計		0
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三菱電機株式会社	4010001008772	03式中距離地对空誘導弾(改善型)	12,902	国庫債務負担行為等	-	-	
2	三菱電機株式会社	4010001008772	03式中距離地对空誘導弾(改善型)(初度費)	4,867	国庫債務負担行為等	-	-	
3	三菱電機株式会社	4010001008772	03式中距離地对空誘導弾(改善型)	3,318	国庫債務負担行為等	-	-	
4	三菱電機株式会社	4010001008772	03式中距離地对空誘導弾(改善型)初度部品	989	国庫債務負担行為等	-	-	
5	三菱重工株式会社	8010401050387	03式中距離地对空誘導弾(改善型)重装輪車両(信号処理部用)	94	国庫債務負担行為等	-	-	
6	三菱重工株式会社	8010401050387	03式中距離地对空誘導弾(改善型)重装輪車両(空中線部用)	91	国庫債務負担行為等	-	-	
7	日本電気株式会社	7010401022916	03式中距離地对空誘導弾(改善型)広帯域多目的無線機	69	国庫債務負担行為等	-	-	
8	トヨタ自動車株式会社	1180301018771	03式中距離地对空誘導弾(改善型)高機動車	60	国庫債務負担行為等	-	-	
9	富士通株式会社	1020001071491	03式中距離地对空誘導弾(改善型)送受信部	37	国庫債務負担行為等	-	-	
10	日本電気株式会社	7010401022916	03式中距離地对空誘導弾(改善型)制御変復調部	31	国庫債務負担行為等	-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		三菱電機株式会社	4010001008772	03式中距離地对空誘導弾(改善型)	13,020	随意契約(公募)	1	99.9%	当該調達には武器等製造法及び火薬類取締法による被許可者が一者に限られる調達であるため、随意契約(公募)によらざるを得ない場合として契約とした。
2		三菱電機株式会社	4010001008772	03式中距離地对空誘導弾(改善型)初度部品	209	随意契約(公募)	1	100%	
3		三菱重工業株式会社	8010401050387	03式中距離地对空誘導弾(改善型)重装輪車両(空中線部用)	114	随意契約(その他)	1	98.4%	
4		三菱重工業株式会社	8010401050387	03式中距離地对空誘導弾(改善型)重装輪車両(信号処理部用)	113	随意契約(その他)	1	98.2%	
5		トヨタ自動車株式会社	1180301018771	03式中距離地对空誘導弾(改善型)高機動車	60	随意契約(その他)	1	100%	
6		いすゞ自動車株式会社	5010701000904	03式中距離地对空誘導弾(改善型)3 1/2tトラック	26	随意契約(その他)	1	100%	
7		三菱ふたばトラック・バス株式会社	7020001078696	03式中距離地对空誘導弾(改善型)7tトラック	25	随意契約(その他)	1	100%	
8		東レ株式会社	5010001034867	03式中距離地对空誘導弾(改善型)偽装網Ⅲ型(改)3号	19	随意契約(その他)	1	99.9%	
9		東レ株式会社	5010001034867	03式中距離地对空誘導弾(改善型)偽装網Ⅲ型(改)(発射装置/運搬装てん装置用)	16	随意契約(その他)	1	99.9%	
10		東レ株式会社	5010001034867	03式中距離地对空誘導弾(改善型)偽装網Ⅲ型(改)4号	6	随意契約(その他)	1	99.3%	

空白